

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5年 3月 1日

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 りんごの樹

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	・2部屋を子どもの情緒に合わせて活用している ・部屋は広いため、落ち着ける部屋と2部屋で分けている。 ・机の配置	
	2	職員の配置数は適切である	3	0	2	・部屋から出る際などは声をかけあうよう配慮している。 ・スタッフは、基準よりは多めに入っている。 ・おやつの時と活動の時の担当児を分けている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	0	・不安定な様子がある場合は防音室を積極的に活用するようにしている ・事業所は2階。2階に上がってしまえば、バリアフリーになっている。 ・座席表を使って、自分の座席を分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	1	・手洗い場が入り口付近にありその場に消毒を置いて一度に手洗いと消毒を済ませられるように工夫している ・建物は、新築で建てて10年は経ったが、きれいな状態になっている。 空気清浄機と窓を開けて換気に心がけている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	1	・その日の打ち合わせ時に前日の振り返りと今日の取り組みについて話し合っている ・改善するようにスタッフ同士で話し合っている。 ・スケジュール表にやる仕事の内容を書いている	・当日の振り返りは、終業時間外になってしまうため、次の日の打ち合わせ時に、前日の振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	0	4	・保護者からの改善してほしいとの要望に合わせて、改善できることは、改善している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	2	・ホームページや、すてっぷサポートで公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2	3	・現在のところ外部評価は入れていない。今後検討を行っていく。	・今後、外部評価へつなげられるようにしていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・社内研修だけではなく社外の研修にも積極的に参加している。 ・社内での研修会を設けたり、外部からの案内があれば、その都度、必要に応じて研修に参加している。 ・事業所のないので行われている研修	
適切な 支援の 提	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	1	・ケース会議や協議や全体会議での意見交換する	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0		・アセスメントツールを活用しているが、それを全スタッフが把握していない為、スタッフが把握できるように伝えていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	2		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	1	・打ち合わせの時間に話し合いながら決めている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	・持ち回りでやっている	・持ち回りでやっており、困ったことがあれば、その都度、相談をして全員で立案をしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	2	・週によって活動内容をかえ同じものがないように工夫している	

供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	1			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・毎日決められた時間に打ち合わせを行っている ・利用者が入室前に、全スタッフで確認をしている。		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	1	・次の日の打合せ時に、振り返りを行っている ・打ち合わせ時に振り返りと反省の時間を設けている	・当日の振り返りは、終業時間外となってしまうため、次の日の打合せ時に、前日の振り返りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	・保護者とのやり取りができるように連絡帳に記載	・日々の支援の記録は、連絡帳に記載をしたり、パニックや発作があるとその都度、記録に残している。全スタッフが把握できるようにしていきたい。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	1			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	・相談支援者からの情報提供		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	1		・連携した支援を行っているが、全スタッフへの周知がまだまだ未熟なため、今後、徹底をしていきたい。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	1	1		・重症心身障がい児の利用者がいない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1	2	・医療的ケアが必要なお子さんや、重症心身障害児の方の利用がない。		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	1	・先生からの申し送り		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	1	・引き渡しの時に先生からの申し送り		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	1	・西ブロック会議		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	0		・コロナ禍で、交流することができなかった。今後、視野に入れて検討していきたい。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	0	・時間が合わない	・中川区に子ども部会が存在しない。地域の子ども・子育て会議等へは、依頼があれば積極的に参加をしている。今後も参加していきたい。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	・帰りの送迎時などに伝えるようにしている ・送迎時、保護者から様子等と聞いている。また必要に応じて、電話連絡をしている。 ・連絡帳のやり取りと送迎時申し送り		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	0	2	・自宅での様子を話してもらう	・ペアレントトレーニング等がどういうものなのか、スタッフで研修を今後行っていきたい。	
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	1	・契約時に説明をしている。	
		33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	1		
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	1	・責任者に相談をする		
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	3	・コロナ禍でなかなか企画しても行うことが難しかった。 ・コロナ感染対策として行われていない	・コロナ禍で、企画したが行うことが難しかった。今後、開催を計画していきたい。	
36		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	1	・管理者に相談する		
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	・ホームページに記載している		
38		個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	0	・ロッカーを施錠している ・鍵ができる書類入れに保管している		

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	1	・コロナ禍でなかなか活動ができていない。 ・コロナ感染対策として行っていない	・コロナ禍で、企画したが行うことが難しかった。 今後、開催を計画していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	0	・年間行事として行っている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	・月に1回、避難訓練を行っている。 ・年間行事として行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	0	・アセスメントシートで確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	・食物アレルギーのあるお子さんがいない。 ・アセスメントシートで確認している	・食物アレルギーのお子さんが現状いない。 いる場合には、保護者に確認等を行い、除去等を行うようにしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	・ファイリングして閲覧できるようにしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	1	・研修等、特に最近ではZOOMで行うことができている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	1		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5年 3月 1日

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 りんごの樹

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	失っている点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	・2部屋を使って子どもたちの状況に合わせて使い分けている ・部屋が二つあることで、お子さんの状況に合わせて使い分けている。 ・机の配置など考えながら置いている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	0	2	・基準よりは、多めに入っている。 ・活動時とおやつ時の担当児を分けている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0	・2階へ上がってしまうば、バリアフリーになっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	1		・当日の振り返りは、終業時間外となってしまうため、次の日の打合せ時に、前日の振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	・要望等があれば、その都度、できることから改善ができるようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	・ホームページや、すてっぷサポートで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1	・現在の所、第三者による外部評価は行っていない。今後、できるようにしていきたい。	・今後、外部評価へつなげられるようにしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・社内だけではなく社・外の研修にも積極的に参加している ・職場内の研修を行ったり、社会での研修も必要に応じて参加をしている。 ・社内研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	1		・アセスメントツールを活用しているが、それを全スタッフが把握していない為、スタッフが把握できるように伝えていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	・事業所独自の物を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	・ひとりの方が立案し、それに対して、みんなですらに肉付けをして立案している。 ・ケース会議の時に話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・子どものリクエストにこたえながら固定化しないよう配慮している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		・持ち回りで行っており、困ったことがあれば、その都度、相談をして全員で立案をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・決められた時間に必ず打ち合わせをするようにしている ・利用者が来る前に、打合せを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	0	3	・次の日の打合せ時に、前日の振り返りもやっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	1	・連絡帳に様子を記載している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・モニタリング会議を行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	0	2		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	・管理者だけではなく、スタッフにも参加して、現場の話もできている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0	・学校とは、すぐに連絡を取れるようにコミュニケーションをとっている。 ・保護者に前日に連絡している	

関係機関 関係機関 関係機関 関係機関 関係機関 関係機関 関係機関	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	0	・医療的ケア児はいないが、発作がある利用者は、保護者を通じて連携を取っている。 ・利用者がいない	・医療的ケア児がいない。今後、医療的ケア児がいる場合には、連携体制を取っていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	1	・小学生の低学年の利用者がいない為、特段共有はしていないが、法人内の児童発達支援事業所とは、連携を取っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	0	・障害福祉サービスへ移行する方は、サ担会を開いて情報を提供している。 ・担当者会議を行っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	1	・必要に応じて、専門分野の方と連携を図っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	2	・いつも遊びに行く公園で、健常の方とも一緒に遊んでいる。 ・公園に行った時に、一緒に遊んだりしている	・コロナ禍でなかなか交流を持つことが難しくなった。今後、関わりを持つことができるようにしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	0	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	・帰りの送迎時などに話し合っている ・送迎時に、保護者と日々の様子を聞いたりして情報共有を行っている。 送迎時に話をしている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	0	3		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	・契約時に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	1	・管理者に報告するとともにスタッフ間でも話し合うようにしている ・モニタリング時や、電話等で相談に応じている。 管理者に相談をしてから、話をしてもらっている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	2	・コロナ禍で企画はしてが、開催することができなかった。 ・以前は行っていたが、今はコロナ感染対策として行っていない	・コロナ禍で、企画したが行うことが難しくなった。今後、開催を計画していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・話し合いの時間を設けて、改善方向について話し合っている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	2	・ホームページのブログで様子等を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	・ロッカーを施錠している ・セコムが入り、さらに、事務所や、ロッカーは鍵をつけている。	
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	4	・コロナ禍でなかなか企画ができなかったが、公園などで遊んでいると、地域の子と一緒に遊ぶことができている。	・コロナ禍で事業所の行事への招待ができなかった。今後、検討していきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	・その都度、変更等があれば、お手紙等を配布して伝えている。 ・誰でも簡単に見れるようにしてある	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	・一か月に一度避難訓練をしている ・月に1回、避難訓練を実施している。また、警察の方などを呼んで、さすまたの使い方を覚えた。 ・年間行事に組み込まれている	
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	・虐待防止のための研修を職場内外あれば、参加している。 ・研修を行っている		

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	・その都度、保護者の方には、説明をしている。 ・電話や送迎時に説明している	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	・食物アレルギーのお子さんが今のところいない。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	・閲覧できるようにしている	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 5年 3月 27日

事業所名 りんごの樹

保護者等数(児童数)20名 回収数 11件 割合 55%

	チェック項目	保護者等数(児童数)20名				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2	0	3	・いつもくつろいでいるみたいです。 ・息子が落ち着くための防音スペースが用意いただいている。 ・活動している場面など、利用時の状況を見ていないのでわかりません。	・法令で決められた面積よりも広い状態です。また、部屋が二部屋あるため、活動したい子、ゆっくりしたい子で分かれて活動を行うこともできます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2	0	1	・子どもの状況に応じて対応をいただいています。 ・活動している場面など、利用時の状況を見ていないのでわかりません。	・職員は、10人に対して2名の配置ですが、今年度は、6名の配置ができております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	2	・窓が大きい為、パニック時に転落が怖い	・窓の傍に利用者が行った場合には、必ずスタッフが付くようにしております。それでも、心配はするのは、とても分かります。今後、改善策を考えていきたいと思えます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	10	1	0	0		利用者様や保護者の方との面談等を行いながら、計画に落とし込んでいけるように今後もしていきたいと思えます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	3		保護者の方にもわかってもらえるように情報発信をしていきたいと思えます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	2	9	・共生社会を子どもの頃から積極的に経験し多様性に富んだ感性を磨いて欲しい。 ・うちの子は行く日と行かない日が半々ぐらいなので交流会の時に参加できているか分からないので。 ・交流の場があるか分からない。 ・息子が健常のお子さんに危害を加える可能性があるため、交流をしていない。 ・具体的な事をあまり聞いた事がないのでわかりません。	今年度は、コロナ禍もあり、交流をすることができていません。以前は、公園等に遊びに来ていたお子さんと一緒に遊んだりすることはありましたが、今年度は、なるべく接触を減らしていました。コロナ禍が落ち着いたら、公園等で一緒に遊ぶ機会を増やしていくことができればと思います。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1	0	0	・頂く書類は出来るだけ目を通して内容を理解するようにしています。 ・事前に変更などある場合も直接しっかり説明していただけてます。 ・通い初めの頃に丁寧に説明を受け変わるごとに配布物で連絡あります。 ・息子の状況をヒアリングしていただき、支援計画を組んでいただいている。	負担額等については、最初の契約時にしっかりと話をさせて頂き、その後は、変更がある場合には、お知らせや直接説明をさせて頂いております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1	0	0	今後、外部評価へつなげられるようにしていきたい。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	0	0	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	2	6		開こうと試みたもののコロナ禍で開催ができなかった。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	4	アセスメントツールを活用しているが、それを全スタッフが把握していない為、スタッフが把握できるように伝えていきたい。	苦情等があった場合には、名古屋市に報告を行うと共に、迅速に解決に向けて話し合いの場を設けている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	4		自己評価の結果は、通信でお知らせをしたり、ホームページに掲載をしている。
	14 個人情報に十分注意しているか	10	1	0	0	・持ち回りで行っており、困ったことがあれば、その都度、相談をして全員で立案をしている。	事業所は、セコムが作動する体制を取っております。さらに書庫は必ず施錠しております。
非常	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	0	0	3		マニュアル等を策定しているが、周知説明が足りていない。今後、細かく説明をしていきたい。

時 等 の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にやって頂き助かります。 ・避難訓練での様子を聞くので安心しています。 ・自分で身を守る方法も、少しずつ覚えていってほしいです。 	月に1回避難訓練の実施を行っている。そのうちの2か月の1回は、法人全体でまとまった避難訓練を行っている。
	満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	1	
18		事業所の支援に満足しているか	8	2	0	1	・満足な部分と微妙な部分あり。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5年 3月 1日

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 りんごの樹

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	・2部屋を使って子どもたちの状況に合わせて使い分けている ・部屋が二つあることで、お子さんの状況に合わせて使い分けている。 ・机の配置など考えながら置いている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	0	2	・基準よりは、多めに入っている。 ・活動時とおやつ時の担当児を分けている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0	・2階へ上がってしまえば、バリアフリーになっている。 ・階段に手すりがついている。下駄箱に、椅子を用意している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	1		・当日の振り返りは、終業時間外となってしまうため、次の日の打合せ時に、前日の振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	・要望等があれば、その都度、できることから改善ができるようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	・ホームページや、すてっぷサポートで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1	・現在の所、第三者による外部評価は行っていない。今後、できるようにしていきたい。	・今後、外部評価へつなげられるようにしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・社内だけではなく社・外の研修にも積極的に参加している ・職場内の研修を行ったり、社会での研修も必要に応じて参加をしている。 ・社内研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	1		・アセスメントツールを活用しているが、それを全スタッフが把握していない為、スタッフが把握できるように伝えていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	・事業所独自の物を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	・ひとりの方が立案し、それに対して、みんなできさらに肉付けをして立案している。 ・ケース会議の時に話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・子どものリクエストにこたえながら固定化しないよう配慮している ・活動を週替わりで行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		・持ち回りでっており、困ったことがあれば、その都度、相談をして全員で立案をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・決められた時間に必ず打ち合わせをするようにしている ・利用者が来る前に、打合せを行っている。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	0	3	・次の日の打合せ時に、前日の振り返りもを行っている。		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	1	・連絡帳に様子を記載している		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5年 3月 1日

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 りんごの樹

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	・モニタリング会議を行っている	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	0	2		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0	・管理者だけではなく、スタッフにも参加して、現場の話もできている。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0	・学校とは、すぐに連絡を取れるようにコミュニケーションをとっている。 ・保護者に前日に連絡している	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	0	・医療的ケア児はいないが、発作がある利用者は、保護者を通じて連携を取っている。 ・利用者がいない	・医療的ケア児がいない。今後、医療的ケア児がいる場合には、連携体制を取っていきたい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	1	・小学生の低学年の利用者がいない為、特段共有はしていないが、法人内の児童発達支援事業所とは、連携を取っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	0	・障害福祉サービスへ移行する方は、サ担当を開いて情報を提供している。 ・担当者会議を行っている	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	1	・必要に応じて、専門分野の方と連携を図っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	2	・いつも遊びに行く公園で、健常の方とも一緒に遊んでいる。 ・公園に行った時に、一緒に遊んだりしている	・コロナ禍でなかなか交流を持つことが難しかった。今後、関わりを持つことができるようにしていきたい。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	0	4		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0	・帰りの送迎時などに話し合っている ・送迎時に、保護者と日々の様子を聞いたりして情報共有を行っている。 送迎時に話をしている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	0	3		
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	・契約時に説明している	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	1	・管理者に報告するとともにスタッフ間でも話し合うようにしている ・モニタリング時や、電話等で相談に応じている。 管理者に相談をしてから、話をしてもらっている	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和 5年 3月 1日

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 りんごの樹

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	2	・コロナ禍で企画はしてが、開催することができなかった。 ・以前は行っていたが、今はコロナ感染対策として行っていない	・コロナ禍で、企画したが行うことが難しかった。今後、開催を計画していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・話し合いの時間を設けて、改善方向について話し合っている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	2	・ホームページのブログで様子等を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	・ロッカーを施錠している ・セコムが入り、さらに、事務所や、ロッカーは鍵をつけている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	4	・コロナ禍でなかなか企画ができなかったが、公園などで遊んでいると、地域の子と一緒に遊ぶことができている。	・コロナ禍で事業所の行事への招待ができなかった。今後、検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0	・その都度、変更等があれば、お手紙等を配布して伝えている。 ・誰でも簡単に見れるようにしてある	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	・一月に一度避難訓練をしている ・月に1回、避難訓練を実施している。また、警察の方などを呼んで、さすまたの使い方を覚えた。 ・年間行事に組み込まれている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	・虐待防止のための研修を職場内外あれば、参加している。 ・研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0	・その都度、保護者の方には、説明をしている。 ・電話や送迎時に説明している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	・食物アレルギーのお子さんが今のところいない。 ・アセスメントシートを確認している	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	・閲覧できるようにしている		

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 りんごの樹

保護者等数(児童数)20名 回収数 11件 割合 55%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2	0	3	・いつもくつろいでいるみたいです。 ・息子が落ち着くための防音スペースが用意はいただいている。 ・活動している場面など、利用時の状況を見ていないのでわかりません。	・法令で決められた面積よりも広い状態です。また、部屋が二部屋あるため、活動したい子、ゆつくりしたい子で分かれて活動を行うこともできます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2	0	1	・子どもの状況に応じて対応をいただいています。 ・活動している場面など、利用時の状況を見ていないのでわかりません。	・職員は、10人に対して2名の配置ですが、今年度は、6名の配置ができております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	2	・窓が大きい為、パニック時に転落が怖い	・窓の傍に利用者が行った場合には、必ずスタッフが付くようにしております。それでも、心配はするの、とても分かります。今後、改善策を考えていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	10	1	0	0		利用者様や保護者の方との面談等を行いながら、計画に落とし込んでいけるように今後していきたいと思っています。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	8	0	0	3		保護者の方にもわかってもらえるように情報発信をしていきたいと思っています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	2	9	・共生社会を子どもの頃から積極的に経験し多様性に富んだ感性を磨いて欲しい。 ・うちの子は行く日と行かない日が半々ぐらいなので交流会の時に参加できているか分からない。 ・交流の場があるか分からない。 ・息子が健常のお子さんに危害を加える可能性がある、交流をしていない。 ・具体的な事をあまり聞いた事がないのでわかりません。	今年度は、コロナ禍もあり、交流をすることができていません。以前は、公園等に遊びに来ていたお子さんと一緒に遊んだりすることはありましたが、今年度は、なるべく接触を減らしていました。 コロナ禍が落ち着いたら、公園等で一緒に遊ぶ機会を増やしていくことができればと思います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1	0	0	・頂く書類は出来るだけ目を通して内容を理解するようにします。 ・事前に変更などある場合も直接しっかり説明していただけてます。 ・通い初めの頃に丁寧に説明を受け変わるごとに配布物で連絡あります。 ・息子の状況をヒアリングしていただき、支援計画を組んでいただいている。	負担額等については、最初の契約時につかりと話をさせて頂き、その後は、変更がある場合には、お知らせや直接説明をさせて頂いております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	10	1	0	0		今後、外部評価へつなげられるようにしていきたい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	0	0	1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	2	6		開こうと試みたもののコロナ禍で開催ができなかった。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	4	・アセスメントツールを活用しているが、それを全スタッフが把握していない為、スタッフが把握できるように伝えていきたい。	苦情等があった場合には、名古屋市に報告を行うと共に、迅速に解決に向けて話し合いの場を設けている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	4		自己評価の結果は、通信でお知らせをしたり、ホームページに掲載をしている。
	14 個人情報に十分注意しているか	10	1	0	0	・持ち回りで行っており、困ったことがあれば、その都度、相談をして全員で立案をしている。	事業所は、セコムが作動する体制を取っております。さらに書庫は必ず施錠しております。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	0	0	3		マニュアル等を策定しているが、周知説明が足りない。今後、細かく説明をしていきたい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	0	・定期的にやって頂き助かります。 ・避難訓練での様子を聞くので安心していきます。 ・自分で身を守る方法も、少しずつ覚えていってほしいです。	月に1回避難訓練の実施を行っている。そのうちの2か月の1回は、法人全体でまとまった避難訓練を行っている。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	1		利用者様やご家族が満足いくことができるように、今後もスタッフ一同で切磋琢磨していきたいと思っています。
	18 事業所の支援に満足しているか	8	2	0	1	・満足な部分と微妙な部分あり。	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。